

虹色の谷から

第 38 号

2019. 7. 15
第二やすらぎの郷
(小浜市深谷10-1-4)

さくら新聞社

施設内研修 = となっております

余暇の時間を利用し、作品作り、植物の育成に励みました。

まず最初にご紹介するのは、牛乳パックで作った椅子です。

24 個の牛乳パックを使ってひたすらテープをペタペタ、パックをギュギュ押し付け…。結構力のいる作業でした。三色の素敵なカラーの椅子が完成。座り心地も抜群で、高いところの物をとる時の踏み台としても最適です。男性スタッフが全体重をかけて椅子の上に乗っていましたが、ビクともしませんでしたよ。「結構しんどいね、こうやって苦労して作ると、職人さんも大変な思いをして作っているのがわかる。物は大切にしなきゃね」とのこと。

二つ目はUVレジン。「学校でもやったことがあるから簡単だよ」とT氏。スタッフも、少し舐めてかかっていたら、容器に流し込む分量など、結構難しかったです。

気はなつて何度も触り、指紋付きのキーホルダーが完成(笑)UVライトがなかったのも、日光でじみちに硬化しました…。

3つ目は多肉植物。施設看護師Tさんに多肉をわけてもらい、育成…。水をやりすぎてもいけないし、「適度」な水やりに努めました。「植物だけど、命の大切さがわかる気がするよ」とのこと。

そんな多肉植物。現在も元気に育っていますよ。

何よりも嬉しいのは、この機会を通じて、物が作られる工程には、たくさんの人たちの頑張りがあってのもの、また、生命の尊さを感じていただけたことです。

さくらユニットでは、将来を見据えた支援の提供に心掛けており、可能な休日は積極的に地域の方にも出かけています。

笑顔咲くサポートに、これからも努めてまいります。



第二やすらぎの郷では、月に1度、職員会議後の時間を利用し、施設内研修を行っています。

出張に行かせてもらった際に参考になった内容を伝達したり、また、グループワーク等を通じて、自分の考えを話しながら、他スタッフと共有しています。

自分が勇気を出して話したことが「うんうん」と頷きながら聞いてもらえると嬉しいですね。また、自信にも繋がります。逆に「こうした方がいいんじゃないか」というような、新たな意見等ももらえたり、自分の考えとは違う他者の意見は刺激にもなります。

研修に行き、参加者だけが得る知識ではなく、必要なことは伝達するというのを大切にしています。

時には、アイスブレイク等、リラックスできるような研修も取り入れています。

若いスタッフも、いろんなところで得た知識を、ドキドキしながら、でも必要な情報は確実に伝達しており、よい経験の機会となっています。



にっこり😊ほっと

今月もにっこりほっとをみなさんにご紹介します。

いつもの確で、安定感のあるあなたの言葉が、私の支えになっています。あなたの声で、とても安心できるのです。ありがとう…。
職員A

去年から、玄関にそっと住んでいる「こだま」野点傘でお茶をしながらゆったりとリラックスタイム♡にっこりほっとです…。
職員B